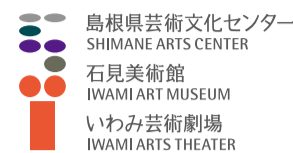


Grand Toit News

Grant News

vol. 74
Summer 2023



企画展紹介

「知られざる津和野の絵師、全貌公開！」

劇場事業紹介

「松竹大歌舞伎、8年ぶりにGrantワへ」

- 特集 親子で楽しもう！劇場で鑑賞しよう！
「令和5年度・親子ふれあい公演」
- 「もうすぐ出番です！」
下野竜也（広島交響楽団音楽総監督）
- リレーでコラム ほか

いわみ芸術劇場
ホール再開！

企画展「没後150年
山本栞谷と津和野藩の絵師たち」
について、展覧会担当の
角野広海学芸員に
見どころをうかがいました。

山本栞谷という名前は初めてき
きました。どんな人なのですか？

山本栞谷（1811-1873）は幕
末から明治初めにかけて活躍し
た、津和野出身の文人画家です。
初めは津和野藩の家老でありな
がら文人画家でもあった多胡逸
齋に学び、後に逸齋の仲介で三
河国田原藩の家老かつ絵師とし
て名高い渡辺崋山に入門しまし
た。嘉永6年（1853）頃には、
津和野藩主の亀井茲監より藩の
絵師を命じられ、藩の公的な事
業にも携わりました。一方で、
江戸近隣をはじめ東海道を京阪
を漫遊し、今の栃木県、静岡県、
愛知県など様々な地域に作品を
残しました。最晩年の明治6年
（1873）には、ウィーン万国博
覧会に花鳥の絵を出品しました（現
在は所在不明）。今では崋山の主
要な弟子10人（崋山十哲）の一
人に数えられ、知る人ぞ知る存
在となっています。

今回の展覧会では、栞谷の初
期から晩年までの幅広い画業や
人物交流を紹介します。



図1 山本栞谷「崋山」 嘉永3年（1850） 佐野市立吉澤記念美術館蔵（吉澤レナウシ）

津和野からそんな人が出ていた
のですね！おすすめの作品や栞
谷の魅力について教えてください。

図1は栞谷が津和野藩の絵師
を命じられる前、40歳で描いた
代表作です。中国唐時代の韓愈
が左遷先へ向かう途上で大雪に
難渋した際、そこに仙術を持つ韓
湘子が現れたという場面を、細
部まで緻密に描いています。多胡

知られざる 津和野の絵師、 全貌公開！

逸齋が所持していた龔宗礼（中
国清時代の絵師）の画帖を原画
としています。栃木県佐野市葛生
の旧家、吉澤家に伝わる作品です。
他方、栞谷は図2のような可愛
らしい絵も描いています。一見
するとラフに描いているよう
な印象を受けるのですが、実は
高い技術を駆使しています。栞
谷は人物や動物のなげない動



図2 山本栞谷「狸ヶ窪」 明治3年（1870） 島田市博物館蔵



図3 山本栞谷「稚童」 明治時代 19世紀 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives

作を、自然に描くことを得意とし
ました。本作は静岡県島田市の
旧家、桑原家に伝わった作品です。
明治期に制作された図3は、
それまでにはあまり見られな
かった西洋風の陰影を意識した
異色の作品です。栞谷は新たな
時代の動向を捉え、自らの絵に
取り入れようとしたのだと考え
られます。

展覧会タイトルに「津和野藩の
絵師たち」とありますが、ほか
にどんな絵師がいるのですか？

例えば岡野洞山美高（1770-
1856）、大島松溪（1758-1846）、
三浦紫腕（1773-1856）がいます。
いずれも江戸時代に津和野藩の
お抱え絵師として活躍しました。
岡野洞山美高の代表作、「製楮
図鑑」（特種東海製紙株式会社
蔵）も展示します。この作品は、
津和野藩の重要な産業である製
紙の工程を描いた絵巻物です。
このほか三浦紫腕の孔雀図や、
紫腕の弟子で栞谷とも関わりの
あった齋川芳腕の墨竹図なども
紹介します。

最後に読者の方々へメッセ
ージをお願いします。

今でこそ栞谷の名前は、一部
の古美術愛好家や研究者の間で
知られるのみとなっています。
ですが、栞谷は津和野藩内だけ
ではなく日本国内で広く活躍し、
さらにウィーン万国博覧会にも
出品するなど、日本の主要な画
家の一人として知られていまし
た。没後150年にあたる今年、
栞谷や津和野藩の絵師たちの知
られざる事績をぜひ多くの方
々に知っていただき、改めて地
域の歴史を見直す機会として
いただけたら幸いです。

YAMAMOTO OKINKOKU



幕末から明治へ、
激動の日本を
絵筆でわたった
石見の天才

企画展

津和野藩の 絵師たち 山本栞谷と

没後150年

関連プログラム

開幕記念講演会「江戸の文人画家 山本栞谷

— 渡辺崋山・椿椿山の画風を受け継いだ『津和野藩絵師』—

7月8日(土) 14:00~15:30

講師：増山禎之(元 田原市博物館館長)

会場：講義室 申込不要／参加無料／先着40名

美術講座「津和野藩の絵画史」

8月12日(土) 14:00~15:30

講師：角野広海(当館主任学芸員)

会場：講義室 申込不要／参加無料／先着40名

ギャラリートーク

7月22日(土)、7月30日(日)、

8月26日(土) 各日14:00~

申込不要／参加無料

※観覧券またはミュージアムパスポートが必要

2023
7/8(土) 8/28(月)

【前期】7月8日(土)~7月31日(月) 【後期】8月2日(水)~8月28日(月)

【開館時間】9:30~18:00 (展示室への入場は17:30まで)

【休館日】毎週火曜日(8月15日は開館)

【観覧料】当日券／一般：1000(800)円、大学生：600(450)円、小中高生：300(250)円

前売券／企画・コレクション展セット 900円

※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料
※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料
※前売券は、ローソン各店(ロード:63823)、Grantワ総合案内カウンターでお求めになります。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ

【特別協力】国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、田原市博物館

【後援】芸術文化とふれあう協議会

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「Grantワ」内

1 山本栞谷「唐児図」[部分] 明治時代 東京国立博物館蔵 / 2 山本栞谷「牧童図」[部分] 明治時代 東京国立博物館蔵 / 3 山本栞谷「盛花図」 明治時代 東京国立博物館蔵 / 4 山本栞谷「花鳥図」 明治時代 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives / 5 山本栞谷「桃花雀図」[部分] 慶応2年(1866) 個人蔵



松竹大歌舞伎

8年ぶりに

グラントワへ

いわみ芸術劇場ホール再開
記念事業「松竹大歌舞伎」
公演の開催が決定しました。
江戸時代から続く
日本の誇る伝統芸能を
是非グラントワ大ホールで
お楽しみください。

歌舞伎の華やかな世界をご堪能ください

日本において400年以上の歴史がある伝統芸能「歌舞伎」。その華やかな世界は現代も多くの観客を惹きつけています。

歌舞伎の起源は今から遡ること約400年前と言われており、江戸幕府ができたばかりの頃に、出雲阿国と名乗る巫女の一座が京都で催した踊りの舞台からだといわれています。当時は阿国が男装をして踊る姿が「かぶき(派手で変まっている)者」の踊りとしてはやされ、全国的な人気を博したようです。

今回の松竹大歌舞伎公演ではお馴染みの忠臣蔵を題材とした「土屋主税」と日本舞踊で人気の「汐汲」の2演目を上演します。土屋主税では中村鴈治郎を始めとする人気俳優陣が登場します。歌舞伎俳優の指の先から目線の先まで綿密な計算をされている美しい動きと、豪華でパリエーションも豊かな衣裳の数々をお楽しみください。

歌舞伎と聞くと少し堅いイメージがあると思われがちですが、歌舞伎を初めて観る方にも分かりやすく楽しんでいただけるイヤホンガイドなども準備していますので是非観劇ください。

グラントワでの公演 2 演目のストーリーと見どころ

1 演目めの「土屋主税」は明治40(1907)年10月に大阪の角座で初演された、渡辺霞亭作の忠臣蔵の外伝物です。物語は赤穂浪士の一人である大高源吾が俳諧師に別れの挨拶に来ることから始まります。俳諧を巧みに織り交ぜながら、討ち入りを待ち望む主税の心情を描いた、上方歌舞伎の代表的な名跡である中村鴈治郎家のお家芸「玩辞楼十二曲」の一つに数えられる名作です。忠臣蔵の中でも俳句の世界を扱った、風流な作品となっていますので歌舞伎の絵面美にみちた舞台をご堪能ください。

2 演目めは会うことの叶わない恋人への思いを馳せて舞を舞うという内容の「汐汲」。女方の舞踊の中でも屈指の人気曲のひとつである作品です。在原行平が土地の蟹女松風と村雨という姉妹と歌を交わしたという説話を基に、「古今和歌集」の行平が詠んだ短歌などが影響を及ぼして生まれた謡曲の「松風」が題材になっています。刈藻の悲しくもまた初心な恋心や、此兵衛との駆け引きを舞踊仕立てで描き出しています。情緒溢れる歌舞伎舞踊をお楽しみください。

歌舞伎を知らない、観たことがない方へ

普段聞きなれない言葉や表現が出てくることもある歌舞伎ですが、初めて歌舞伎を観劇される方のために劇場内で有料貸出を行っているイヤホンガイドも用意をしています。舞台の進行にあわせてわかりやすく解説してくれますので是非ご利用ください。また当日は劇場でプログラムも販売しますので、開演前に読んでいただく事もおすすめです。

日本の誇る伝統芸能「歌舞伎」の豪華絢爛な色彩と非日常空間、人気俳優たちの情感たっぷりの名演をこの機会に是非グラントワ大ホールでご堪能ください。



中村鴈治郎(四代目 成駒家)

NAKAMURA GANJIROU

1956年2月6日生まれ。四世坂田藤十郎の長男。67年11月歌舞伎座『紅梅曾我』の一萬丸で中村智太郎を名のり初舞台。95年1月大阪・中座『封印切』の忠兵衛ほかで五代目中村断雀を襲名。2015年1・2月大阪松竹座『廓文章』の伊左衛門ほかで四代目中村鴈治郎を襲名。

LIFE with グラントワ

感動を共有できる場所

大ホール、小ホール、多目的ギャラリー、スタジオ1、大ホールホワイエ、美術館ロビー。いままでヴァイオリンを演奏させていただいた会場です。

ある時はピアノと、ある時はフルートと、また弦楽合奏で、古楽器アンサンブルで。

どの場所で演奏しても、楽譜の中に閉じ込められていた音楽が翼を得て響き渡ります。

さて、演奏していて気持ちの良い瞬間があります。それは自分が演奏しているというよりも音楽が降りてくると感じる瞬間です。その瞬間は何か大切な時間をお客様と共有できた様な気がして心満たされ、石見にはこんな素敵な場所があるのだという喜びがこみ上げてきます。

重厚な赤瓦の佇まいのグラントワに足を踏み入ると、心地よい緊張感と「何か素敵なことが起こりそう!」という期待が湧いてきます。これからはグラントワでは沢山の方々と豊かな時間を共有していきたいと思っています。

[ヴァイオリン奏者 中山ゆき子]

PICK UP EVENT



大駱駝艦・天賦典式 創立50周年記念作品「おわり」

2023年6月18日(日)
開演 14:00(開場 13:15)
大ホール

世界に舞踏の名を広めたカリスマ「磨赤兒」率いる舞踏集団・大駱駝艦が2021年の「クレイジーキャメル」に続き、再びグラントワに登場。創立50周年記念作品「おわり」を上演します。テーマは「宇宙の崩壊」。謎に満ちた宇宙を磨赤兒ならではの創造力で描く、「おわり」とは――。世界中の観客を魅了してきた大駱駝艦匠巻の舞台、どうぞご期待ください。

※料金等の詳しい情報は、下部広告欄をご覧ください。

劇・場・を・探・る



【建て込み】

演劇などで舞台上にセットや大道具を設営する作業を「建て込み」と言います。建て込みされるものは上演される内容に合わせて建物や街灯など様々なものがありますが、大道具の下には場面に応じて早く動かすことが出来るようにキャストが取り付けられていたり、セットの足元には「鎮」という重しを置いて倒れないようにしたりするなど、安全と作業性が考慮されています。

今回は「バミリ」です。

益田 島根県無形民俗文化財指定

糸操り人形

グラントワ 定期公演

明治時代に益田の地に伝わり、136年間脈々と受け継がれてきた唯一無二の伝統の技をご堪能ください。

2023年6月4日(日)
いわみ芸術劇場小ホール 開場 13:00 開演 13:30

演目 寿三番聖 / 山本一流獅子の一曲 ほか
人形と三味線の解説あり

入場料 [全席自由・税込]
一般 500円(前売・当日同料金) 高校生以下 無料
※高校生以下の方は無料入場券が必要です。
グラントワ総合案内カウンターまでお申込みください。
(公演当日、学生証など年齢のわかるものをお持ちください)

創設50周年記念作品 大駱駝艦 天賦典式 「おわり」

磨赤兒 率いる

2023年 6月18日(日)
いわみ芸術劇場 大ホール 開場 13:15 / 開演 14:00

チケット好評発売中

入場料 ※全席指定・税込
一般 3,500円
学生・子ども 1,500円
※学生証は25歳以下の学生が対象です。
※3歳以下入場不可 / 4歳以上チケット必要

いわみ芸術劇場ホール再開記念

下野×広響 集大成のシンフォニーを お聞き逃しなく!

広島交響楽団

第30回 島根定期演奏会

曲目 プラームス: 大学祝典序曲 Op.80 シューマン: チェロ協奏曲イ短調 Op.129
ドヴォルザーク: 交響曲第8番「長調」Op.88

2023年6月25日(日)
いわみ芸術劇場大ホール 開場 13:45 開演 14:30

入場料 ※全席指定・税込
[S席] 3,500円 [A席] 2,500円
[学生券] 1,000円
※学生証は小学生以上25歳以下の学生が対象です。
※公演当日、学生証など年齢のわかる証明書をお持ちください。
※車椅子貸出エリア・海外観客補助装置をご希望の方は、グラントワへお問い合わせください。
学生無料ご招待あり(先着順) グラントワ総合案内カウンター窓口またはお電話にてお申込みください。

チケット好評発売中

いわみ芸術劇場ホール再開記念

AYAKA Juntale Tour 2023

グラントワ初登場!!
聴く人の心に響き渡る絢香の歌声とライブパフォーマンスをお楽しみください。

2023. 8.11 (金祝)
いわみ芸術劇場 大ホール 開場 16:00 開演 17:00

入場料 [全席指定・税込] 8,800円
※未就学のお子様のご入場はご遠慮願います。

6月3日(土) チケット発売



「OROCHI」

親子で楽しもう！劇場で鑑賞しよう！ 令和5年度 親子ふれあい公演

いわみ芸術劇場では、親子で楽しめる内容のコンサートや演劇にも力を入れています。今回、令和5年度に開催される公演の一部をご紹介します。お子様連れでも安心して劇場という非日常的な空間をお楽しみください。

プラリーには沢山の絵本や雑誌、「情報コーナー」には様々な芸術文化の情報もあり、芸術の香りに包まれながら親子で過ごすのも魅力です。そうそう、ホール入り口の「ホワイト」は、フランス語で『団らんの間』という意味です。特別なイベントがない日でも、ぜひグラントワへ団らんしにお越しください。

親子で楽しめる！

公演ラインアップのご紹介

令和5年度は、親子で楽しめる公演も充実しています。

9月23日(土)に開催するのは「ケロポンス親子コンサ

ト」。0歳児から楽しめるあそびうたや体操で大人気のケロポンスがやってきます。大人も一緒に楽しめる、歌あり、体操あり、あそびありのコンサートで元気いっぱい盛り上がりましょう。

10月21日(土)には、益田おやこ劇場との連携事業として、



ケロポンス親子コンサート(9月23日)

人形劇団むすび座「オズのまほうつかい」を上演します。世界的に知られるこのファンタジーが、人形劇ならではの表現と、むすび座ならではの視点でさらに豊かな物語に。子どもはもちろん、大人も楽しめる芸術的な作品をぜひ親子でご堪能ください。



益田おやこ劇場連携事業・人形劇団むすび座「オズのまほうつかい」(10月21日)

もうすぐ！
出番です！



© Naoya Yamaguchi

下野竜也

(広島交響楽団音楽総監督)

グラントワの素敵な舞台上に再び立てる事を、私たち広島交響楽団は心から楽しみにしています。リニューアルオープンを祝して、ブラームスの大学祝典序曲で幕を開けさせていただきます。その後は、我がマーティン・スタンツェライトによるシューマンのチェロ協奏曲、ドヴォルザーク交響曲第8番というメニューをご用意しています。

この3人は(プログラム順ではありませんが)、シューマンはブラームスを、ブラームスはドヴォルザークを、という様に後輩の才能を認め、援助し、良き友人関係を築いたという点で結ばれています。

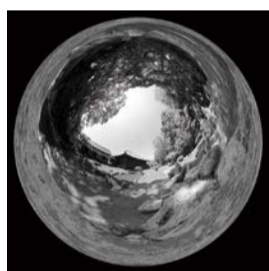
私はデビューした頃より広響に多くのチャンス頂きました。その中で、ドヴォルザークの交響曲を6番から9番「新世界より」までを順に演奏した事がとても大切な思い出です。それ以来の広響との演奏になります。

自分の故郷(チェコ、ボヘミア)の歌心を覆い隠す事なく作曲された自然讃歌であるこの「第8番」を素敵なホールで謳いあげたいと思います。

下野竜也 SHIMONO TATSUYA

鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年アサンソン国際指揮者コンクール優勝。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、国際舞台での活躍も目覚ましい。読売日本交響楽団の初代正指揮者、首席客演指揮者等を経て、現在は、広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督。

みさき 美術館に よいて



コレクション展
「石見の
現代作家たち」
6月28日(水)
～9月4日(月)
会場:展示室C

平川紀道
《habitable zone
[TRAPPIST-1] no. 03》
2022(令和4)年

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

専門学芸員 左近充直美

水彩画を見る楽しみのひとつは、画面の隅々まで見ることです。「何が(あるいは何色が)」「どのように」描き込まれているかを細かく見ていくと、実は様々な発見があります。これは不透明色を塗り重ねていく油彩画と違い、紙の白地や下色を残しつつ、透明水彩絵具を薄く塗り重ねていく技法だからこそ得られる楽しみです。

大下藤次郎は、穏やかな川に釣り人を乗せた船が浮かぶ様子を描いています。使用している



大下藤次郎

《つり》

1895年 水彩、紙 当館蔵

色は主に緑と黄と青と一見単調です。しかし木の葉は淡い黄とオレンジを下に置き、その上に濃さの異なる暗い緑を点描で重ねており、さらにその色を含ませた筆の勢いで風に揺れる木の躍動感も表しています。所々で強弱をつけて部分的に省略を加え、手順良く色を重ねているのも見てとれます。筆跡を追うことで、その場にいるような臨場感が味わえます。

コレクション展「石見の現代作家たち」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. 江戸時代の津和野の絵師を紹介する企画展にあわせてということですが、「現代」とはいつ頃からのことですか？

1950年から2022年までの作品を展示します。明治生まれで昭和に活躍した中尾彰や喜多村知、昭和後期から現在まで抽象表現を続けている岩本拓朗ら津和野の作家のほか、吉賀町の澄川喜一、益田市出身で現在はNYを拠点に活動する野村康生などの、多彩な表現をご覧ください。

Q2. 新しく収蔵した作品もあるんですね？

浜田市出身の平川紀道が昨年、企画展のために石見で制作した4点です。萬福寺や畳ヶ浦など地元で知られた場所が、作家の着想によって、これまでにない見え方で現されています。

いわみ芸術劇場ホール再開記念

令和5年度(公社)全国公立文化施設協会主催 西コース

松竹大歌舞伎

「松竹大歌舞伎公演」は、八年ぶりとなる四〇〇年の歴史を持つ日本の代表的な古典演劇の魅力をもつ分に味わってください。

上演内土屋主税

2023年
9月10日(日)
開場 13:15 / 開演 14:00
いわみ芸術劇場大ホール

入場料【全席自由・税込】
[S席] 8,000円
[A席] 6,000円
[B席] 3,000円

7月1日(土) チケット発売

製作 松竹

あなたのまちで味わう芸術文化

グラントワ 館外公演事業

いわみ芸術劇場の大・小ホール再開後も、文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。

鑑賞公演や芸術体験を開催 /

グラントワ アウトリーチ事業

石見地域の学校や地域施設を中心に芸術文化をお届けします。

各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

石見美術館コレクション展

展示室 A

コレクション展 象る絵
6月26日(月)まで開催中
風景や花や野菜といった身近なものを主題とし、それらを具象的に描いた表現に注目し、近現代の日本画、洋画、版画を展示します。

石井柏亭(芙蓉湖) 1950年

展示室 B

コレクション展 版画アラカルト
5月31日(水)～7月17日(月・祝)
一品ずつ料理を楽しむように、表現方法も時代背景も異なる作家たちの、個性あふれる版画作品をじっくりご堪能ください。

永瀬寛部(祭壇の処女) 1975年

展示室 C

コレクション展 石見の現代作家たち
6月28日(水)～9月4日(月)
※「美術館にきてみよう」参照

野村康生 (Noctis.Labyrinthus) 2017年

様々な色と形をした職人による手づくりのガラス製品がすっきりとした空間の中に展示され、楽しく鑑賞することができた。自然をモチーフに形づくられた作品たちは、どれも美しく感じました。(益田市・40代/企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」)
巨大な作品がどのように作られていくのかがわかった。技術者と職人の方々の澄川作品に対する情熱を感じるお話でした。(益田市・50代/特別展 受贈記念「彫刻家・澄川喜一の仕事」関連プログラム・記念講演会「石のはなし-澄川作品と徳山みかげ」)
大ホールの舞台上から客席側に向けて張られた巨大スクリーンに映し出されるオーロラの風景に見とれていて、まだ外は明るい時間であることを忘れてしまうほどでした!(益田市・40代/グラントワ・マルシェ「オーロラ投影-扉のむこうはフィンランド〜」)

Grand Toit & / リレーでコラム 8

志田尾浩士 (いわみ芸術劇場総務広報課)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。第8回は、総務広報課総務グループリーダーの志田尾浩士さんです。

通勤する車の窓から華やかな花の景色があちこちに見られるようになりました。コロナ禍以前とまったく同じとまではいきませんが、マスク着用の緩和もあり、少しの解放感によって「春」を改めて感じることができました。

毎日過ごすグラントワも中庭や回廊に注がれる日差しが、この季節ならではのやさしい光に包まれています。様々な企画やイベントはもちろん、建物全体に纏う空気感もグラントワの魅力の一つだと再認識しました。私が感じるのは、赤茶色が特徴の石州瓦がキラキラと日光に反射する様子や中庭の水盤に流れ込む水音、しっとりとしたカリン材の回廊の踏み心地などが落ち着いたぬくもり感を与えてくれるところ。解放された気持ちがそういった心地よさを一層、引き立ててくれるのでしょうか。

さて、2021年11月より耐震改修工事を行っていたグラントワ内の大ホール、小ホールの工期が終わり、皆様をお迎え出来るよう5月の再開に向けて調整しているところです。耐震改修工事のため、見た目では変化がわからないかもしれませんが、来場される方に安心を提供できることは喜ばしいことです。ホールの再開に合わせて企画展やコンサート等も以前と同じように開かれます。ぜひ足を運んでいただき、皆様方にとってのグラントワでの楽しみ方や魅力を見つけていただけたらと思います。



カリン材で仕上げられた回廊

今回は福岡一さん(文化事業課課長代理)の予定です。

報告します!

グラントワまちなか劇場「BLACK BOTTOM BRASS BAND 萩・石見空港スペシャルライブ」開催!



当日の様子

グラントワの耐震工事期間中、劇場を飛び出して、益田市内で文化芸術をお届けしてきた企画「まちなか劇場」。ラストステージを飾る第4弾は、開港30周年を迎える西山陰の空の玄関口「萩・石見空港」でコンサートを開催しました。日本を代表するニューオリンズプラスバンド「BLACK BOTTOM BRASS BAND」は貨物倉庫という独特な場の魅力を最大限に活かし、熱気あふれるパフォーマンスで来場者を一気に魅了。最後まで走り抜けました!

持ち寄った楽器を演奏しながら来場者が出演者とパレードする場面もあり、晴れわたる青空に歓声と拍手が響く1日となりました。

参加者の感想

普段入れない空港の倉庫というのが最高! (山口市・40代)
パレードがものすごく楽しかった! (益田市・小学生)

ワークショップ「木でつくる小さなモニュメント」開催



当日の様子

3月18日(土)に、特別展「受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事」の関連ワークショップが開催され、16人が参加しました。講師に熊谷広実さん(中村木材工業株式会社)を招き、素材となる木の話を見学室で聞いた後、参加者は木材を使って小さなモニュメントをつくりました。作りたい形をスケッチし、流木や竹、木材を選び、釘を使わずに組み立て、完成を目指します。最後の講評会では、参加者の個性が光る作品がたくさん並びました。

Duo・アフェッティによるファミリー向けコンサートを開催しました!!



当日の様子

当日は暖かく穏やかな良い天候に恵まれ、多くのお客様にご来場いただきました。馴染みの曲も多く、子どもから大人までが音楽を楽しめるコンサートとなりました。ロビー出店も賑わいを見せ大盛況でした!

編集後記

■何号かぶりの編集後記の復活ですね。グラントワニュースももう74号。私が初めてこの編集に携わったのは26号の「スウィング・ロンドン展」の時でした。懐かしい〜! [T.Y.]

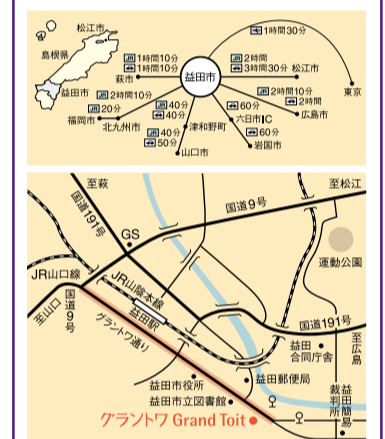
■最近うすはりグラスを購入しました。ひとつずつが手作りという神業で飲み口が非常に薄くそれだけで味が格段に変わります。おかげでハイボールが止まらない今日この頃です。[M.A.]

■ソフトキャンディを噛んだ瞬間、ソフトではない違和感あり。銀歯が取れ、米粒大に歯も欠けた。これからは、あまり噛まないようにしよう。[U.T.]

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は閉館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合閉館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合あり。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※2023年8月15日(火)は臨時閉館



交通案内
●石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
●JR益田駅から徒歩15分
●萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
●浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
●JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit
島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860(代表)
FAX: 0856-31-1884(代表)
e-mail: zaidan@grandtoit.jp
www.grandtoit.jp

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためお願い
・発熱、咳等の症状がある方、体調不良の方はご来場をお控えください。
・基本的な感染防止対策をお願いいたします。

読者プレゼント

「ケロポンズ親子コンサート」招待券をペア3組様にプレゼント!

毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、7月31日(月)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.74 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

グラントワ通への道

Q. ミュージアムショップのおすすめ商品を教えてください!

A. 企画展ごとに販売される期間限定グッズは、展覧会鑑賞後の定番商品としておすすめですが、グラントワならではのオリジナルグッズとして「CHOPSTICK REST(箸置)」もおすすめ。この小さくて可愛い石州瓦の形をした箸置は、グラントワを設計した建築家・内藤廣さんのデザインによるものです!

ビアホール オープン!!

2023 Beer Hall!

90分 飲み放題 + シェフ おまかせ料理

お一人様 5,500円(税込)

「しまねプレミアム飲食券」ご利用可!

【時間】18:00~21:00(21:30に閉店します)
【期間】6月1日(木)~8月31日(木)まで 【休み】毎週火曜日
※予約制となっております。※4名様より承ります。※当日のキャンセルは承りません。

Restaurant Pony
www.restaurant-pony.com/

■営業時間 / 11:30~16:30
※イベントにより変更あり・夜は予約のみ
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1873

コン・アモールの最新情報、Instagramで発信中!

「コン・アモール」公式 Instagram @con_amore1008

ミュージアムショップならではのアートや芸術にちなんだ書籍や雑貨などのおすすめ商品や、ショップオリジナル商品、企画展にちなんだ限定アイテム、ショップからのお知らせなどを随時更新しています。コン・アモールのInstagramをフォローして、ぜひ、お気に入りの商品を見つけてください!

MUSEUM SHOP con amore
www.grandtoit.jp/shop/

■営業時間 / 9:30~17:00
■店休日 / 毎週火曜日、年末年始
■TEL / 0856-31-1874

Follow Us!

最新の情報をいち早くお知らせ

「グラントワ」公式 Facebook @grandtoit.jp

「石見美術館」公式 Instagram @iwamiartmuseum

「グラントワ」公式 Twitter @grand_toit

「グラントワ」公式 YouTube @grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

グラントワ会員募集中

「グラントワ」では、3つの有料会員と無料のオンラインチケット会員の制度を設けています。文化・芸術に触れる機会と時間を増やし、グラントワと共に人生を彩ってみませんか?

有料会員 入会方法・特典など詳しい内容は

グラントワ共通カード
美術館も劇場も楽しみたい方におすすめ!

会費(税込)	一般 4,000円
	大学生 3,000円
	小中高生 2,250円

ミュージアムパスポート
美術館への入館がいつでも無料!

会費(税込)	一般 3,000円
	大学生 1,800円
	小中高生 900円

ホール友の会
劇場イベントの先行予約&先行購入!

会費(税込) 2,000円

無料会員 登録・ご利用方法など詳しい内容は

オンラインチケット「シマチケ」
シマチケ! オンラインで劇場のチケットを購入! 登録無料

各会員の詳しい特典と内容は、グラントワホームページをご覧ください。